

## A-1 話すこと・聞くことの学習にあたって

### 1. 「話すこと・聞くこと」の学習の必要性

「話すこと・聞くこと」の学習にあたって、話し言葉を学習する意義・話し言葉によるコミュニケーションの働きについて改めて調べてみた。

#### 話し言葉を学習する意義

##### (1) 主体的な話し手・聞き手になること

「なんのために」「どんなことを」「だれに」「どこで」「どのような方法で」伝えていくのか。これらを意識して話せるようになることが、「主体的な話し手になる」こと、意識して聞けるようになることが、「主体的な聞き手になる」ことの第一歩である。その上に立って、進んで相手と関わり、絶えず相手との心の距離を調節しながら話のやり取りができる子どもが、「主体的な話し手・聞き手」である。

##### (2) 言葉の交流によって人間関係を学ぶこと

話し言葉は書き言葉と違い、原則的には目の前に相手があって成立する。伝え合うべき事柄（話題）と場（状況）が存在する。事柄をどのように伝えるかは、相手や状況によって変化するし、相手自身も場の中で変化し続ける。心の通じ合いに発展すれば、言葉を介した人間関係が広がっていく。

##### (3) 話し言葉の基本的な能力を育てること

- ① 言語による認識力・思考力・判断力（話し言葉を聞いて考え、その考えを広げたり深めたりする。）
- ② 言語による表現力・伝達力（話し言葉を使い、分かりやすく相手に伝える。）
- ③ 言語による社会性（話のやり取りをしながら、相互に相手の心の距離を調節しながら対応していく。）
- ④ 言語感覚・情緒性（感性を刺激し、磨いていく。）
- ⑤ 創造力（自己の内面を見つめ、個性を磨いていく。）
- ⑥ 言語の文化性（話し言葉による伝統文化、話し言葉の歴史を学ぶ。）

（「国語科における話し言葉の学習」津田成一）

#### 話し言葉によるコミュニケーションの働き

話し言葉によるコミュニケーションには、大きく分けて2つの働きがある。一つは、互いの考えや立場を分かりやすく正確に伝達し合う働き（伝え合いとしてのコミュニケーション）である。この働きは、伝言や調査報告、討議や討論などの場面で必要とされ、私達が社会生活を円滑に営むうえで欠かせない働きである（例：光村図書 3年上「道あんないをしよう」）。もう一つは、他者との間にある感情やイメージを共有し、互に通じ合う働き（通じ合いとしてのコミュニケーション）である。人間関係を育み、温かで円滑な日常生活を営むうえで必要な、心の結びつきである（例：光村図書 5年下「『失敗』をめぐって」）。

私達の社会生活は、通じ合うコミュニケーションに支えられながら、伝え合うコミュニケーションをもって営まれている。いずれも「話すこと・聞くこと」を豊かに確実に経験することなくして、絶対に実現し得ないものである。

（「伝え合い、通じ合うコミュニケーションを目指して」藤森裕治）

## 2. 個を生かし、伝え合う力を高めるために

前述の「話すこと・聞くこと」の学習の必要性をふまえて、また、これまで積み重ねてきた「話すこと・聞くこと」にさらに磨きをかけるために、5年生の国語では、「インタビュー」を活動として取り入れることにした。

### 【参考】

**インタビューとは** 直接人に会って、必要な知識や情報を得るために話を聞く活動  
インタビューする者と、インタビューを受ける者との一対一を基本単位とする対話の一種。

- ① 自分が主役のインタビュー（自分が知りたいことや調べたいことを聞き出すインタビュー。情報を得ることが目的。）
- ② 読書や聴衆が主役のインタビュー（読者や聴衆想定し、その興味や関心を満たすために相手から話を聞き出すインタビュー。情報を発信することが目的。）

### **国語科の学習としての「インタビュー」の価値**

- ・ インタビューをする人とされる人という役割が固定しているため、聞き手として相手の話を引き出すことに集中することができる。聞く力を高めるのに適した学習活動である。
  - ・ 初対面の人に会って話を聞くという活動の過程で、あいさつ・自己紹介など、多彩な生きたコミュニケーション活動を経験することができる。
  - ・ インタビュアーとして、相手の言葉を受けて返す技能を身につけることで、対話や話し合いなどのコミュニケーション活動に生かすことができる。
- （「小学校国語 『話すこと・聞くこと』の指導——人とつながる力をつけるために」光村図書より）

「伝え合う力を高める」ということから、今回は「インタビュー名人になろう」（光村図書 5年上）の教材文を参考にした。昨年度も5年生でインタビューの学習をおこなったので、その時の内容や具体的な指導の手だても生かしつつ、今年度の子どもの達の実態に合わせて指導計画を立てることにした。

## 3. 指導計画にあたって

指導計画を立てるにあたって、以下の点に留意した。

- ① インタビューの目的（「クラスの人のことをよく知ろう」）
- ② インタビューの相手（班の中で2人組をつくる・男女混合で）
- ③ インタビューの事前調査（今、夢中になっていること・楽しいことを書く）
- ④ インタビューしたことのまとめ（レポート「〇〇さんに聞きました」）